

本会の活動から

東洋大学と帝京短期大学の学生の 見学実習に協力

東洋大学と帝京短期大学の養護教諭をめざす学生を対象に実習を行った。今年で5回目の開催となる今回の実習は、8月4日に東洋大学赤羽台キャンパスで行われ、東洋大学から25人、帝京短期



大学から5人が参加した。

午前の部は、事務スタッフが学校保健事業や学校検診Q&Aなどの説明を行い、午後の部は検査技師立ち会いの下、心電図検査や側弯検査（検診）の現場見学を行った。

実際に検診機器に触れ、検査を体験した学生からは、「検診の環境整備や検診受診の大切さを実感できた」などの感想が聞かれ、この実習は本会スタッフにとっても有意義なものとなった。

東京工科大学生の現場実習に協力

本会は、東京工科大学が行う地域看護学統合看護実習に協力している。今年7月24日に8人の学生を受け入れた。実習では、労働衛生機関における保健師の役割と活動についての講義や保健指導現場見学などのカリキュラムを提供した。

東京都島しょ部のがん検診に協力

東京都島しょ部の住民を対象とした今年度のがん検診のうち、大島町の乳がん検診が6月8～11

日、「人生100年時代を支える予防医療の進歩」をテーマに群馬県高崎市で開催され、理事長の久布白兼行、常務理事（事業本部担当）の大島利彦、他、総務部と施設健診事業部の職員2人が参加した。

●第59回日本小児循環器学会総会・学術集会が7月6～8日、「Perpetual Harmony Behind the Smile」をテーマに神奈川県横浜市で開催され、理事（健康支援センター担当）の阿部勝巳の他、地域・学校保健事業部、検診検査部の職員4人が参加した。

●第40回全国情報統計研修会が8月24～25日、群馬県高崎市で開催され、常務理事（事業本部担当）の大島利彦の他、統計事務部の職員3人、情報管理部の職員1人が参加した。

●第50回日本マススクリーニング学会学術集会が8月25～26日、「トキは今マススクリーニングのこれまで（過去）の50年とこれから（未来）の50年を考える」をテーマに新潟県新潟市で開催され、理事長の久布白兼行と母子保健検査部小児スクリーニング科の職員3人が参加した。

このうち同科の石毛信之は、同学会理事として理事会に出席した他、イブニングセミナーで座長を務めた。また、長谷川智美が「東京都における拡大新生児スクリーニングの試験研究（第3報）」と題して、橋本佳澄が「東京都における極長鎖アシルCoA脱水酵素欠損症（VLICADD）のスクリーニング判定基準の設定（第2報）」と題して発表した。

●第64回日本人間ドック学会学術大会が9月1～

2日、「人生100年時代を支える予防医療の進歩」をテーマに群馬県高崎市で開催され、理事長の久布白兼行、常務理事（事業本部担当）の大島利彦、職域保健事業部長の廣瀬篤史、消化器診断部長の川崎成郎、総合健診部長の川井三恵の他、施設健診事業部の職員2人、検診検査部の職員2人が参加した。

本会の職員が

全衛連の功績賞、奨励賞を受賞

全国労働衛生団体連合会（全衛連）は、主に労働衛生機関が会員となり、検査技術や保健指導技術等の向上を図り、労働者の健康の保持増進、国民保健の発展に寄与することを目的に活動している団体である。

全衛連では毎年、会員施設において業務に精励し、顕著な功績が認められた者に功績賞、奨励賞を贈っている。6月15日に開催された令和5年度定時総会で今年度の表彰が行われ、本会の看護部職員1人が功績賞を、母子保健検査部と医務管理部の職員2人が奨励賞を受賞した。

本会理事、評議員の就任

佐藤智秀理事の辞任（辞任日 令和5年6月30日）に伴い、雲田孝司（東京都保健医療局長）が理事に就任した。また、東京都厚生農業協同組合連合会代表理事の交代に伴い、新藤茂（辞任日 令和5年7月31日）に代わり大野隆司が新たに評議員に就任した。

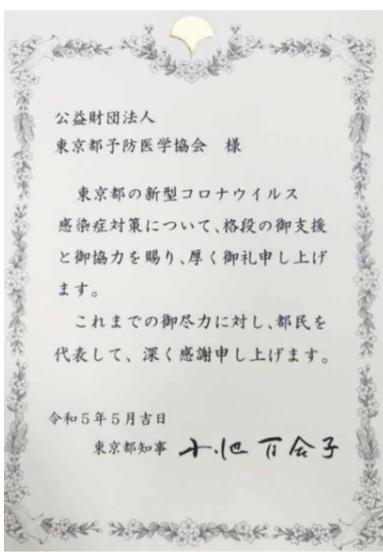
日に、神津島村の子宮がん、乳がん検診が5月9～13日に、肺がん・結核検診が8月18～20日にそれぞれ行われ、本会が協力した。

東京都知事から感謝状

東京都では2020年4月7日より、新型コロナウイルス感染症の陽性患者を受け入れる宿泊療養施設を設置している（今年9月末に終了）。

本会は東京都福祉保健局（現東京都保健医療局）からの要請を受けて、2021年1月末より2023年5月7日まで、この宿泊療養施設の入所判定業務に協力した。

この程その取り組みに対し、東京都知事から感謝状が贈呈された。



学術集会への参加等

●予防医学事業中央会の主催する令和5年度第1

小児健康相談室のご案内

検診で異常を指摘された子どもを対象に、専門医によるフォローアップを行っています

学校検診で異常を指摘されたけれど、近くに専門医がない。軽微な異常で治療は必要ないけれど、定期的な経過観察は必要。「小児健康相談室」では、そうした子どもたちを対象として、専門医による経過観察、生活指導を行っています。

検査や診断には費用がかかります（保険診療）。
本会で学校検診を受けた方は、検査・検診時のデータを用いて診療や相談が可能です。

腎臓病	心臓病	貧血	脊柱側弯症	肥満・コレステロール	思春期やせ症
担当医 柳原 剛 日本医科大学 准教授	担当医 鮎澤 衛 日本大学医学部 客員教授	担当医 前田美穂 日本医科大学 名誉教授	担当医 南昌平 聖隷佐倉市民病院 名誉院長	担当医 岡田知雄 日本大学医学部 客員教授	担当医 鈴木真理 跡見学園女子大学 心理学部特任教授
外来日 第1水曜日 午後	第4木曜日 午後(4~9月) 第3水曜日 午後(10~3月)	第1火曜日 午後	第2月曜日 午後 第4金曜日 午後	第3火曜日 午後	第2木曜日 午後

前田美穂先生による
『貧血電話相談室』
養護教諭・保健師・看護師からの相談をお受けします(無料)
開催日：第1火曜日 14時半～15時半

小児健康相談室

問い合わせ・申し込み **公益財団法人 東京都予防医学協会 地域・学校保健事業部** ☎03-3269-1131
東京都新宿区市谷土土原町1-2